

平成 27 年 7 月 22 日

長岡市教育委員会（定例会）会議録

長岡市教育委員会



1 日 時 平成 27 年 7 月 22 日 (水曜日)  
午後 3 時から午後 4 時 35 分まで

2 場 所 教育委員会 会議室

3 出席委員

委員長 大橋 岑生      委 員 羽賀 友信      委 員 中村 美和  
委 員 青柳 由美子      教育長 加藤 孝博

4 職務のため出席した者

教育部長	佐藤 伸吉	子育て支援部長	若月 和浩
教育総務課長	武樋 正隆	教育施設課長	中村 仁
学務課長	茂田井裕子	学校教育課長補佐	山田あゆみ
子ども家庭課長	波多 文子	保育課長	大野 宏
中央公民館長	佐藤 実	中央図書館長	金垣 孝二
科学博物館長	小熊 博史	学校教育課主幹兼管理指導主事	笠原 徹
学校教育課主幹兼管理指導主事	山之内方史	学校教育課主幹兼管理指導主事	宮 宏之

5 事務のため出席した者

教育総務課長補佐	水内 智憲	教育総務課庶務係長	佐藤 裕
教育総務課庶務係	高杉 雄二	学校教育課企画推進係長兼指導主事	吉田 勇一

## 6 議事日程

日程	議案番号	案 件
1		会議録署名委員について
2	第 40 号	学校統合及び条例改正の申出について (長岡市立学校設置条例の一部改正)
3	第 41 号	平成 28 年度使用教科書用図書採択について

## 7 会議の経過

(大橋委員長) これより教育委員会 7 月定例会を開会する。

---

### 日程第 1 会議録署名委員について

(大橋委員長) 日程第 1 会議録署名委員の指名を行う。会議録署名委員については、会議規則第 44 条第 2 項の規定により、羽賀委員及び青柳委員を指名する。

---

### 日程第 2 議案第 40 号 学校統合及び条例改正の申出について

(大橋委員長) 日程第 2 議案第 40 号 学校統合及び条例改正の申出について議題とする。事務局の説明を求める。

(茂田井学務課長) 6 月定例会で報告したとおり、6 月 11 日に小国地域 3 小学校の統合に関する要望書が提出された。教育委員会としては、地域住民の意向に沿って小国地域 3 小学校を統合することを諮り、長岡市立学校設置条例の一部改正を申出るものである。上小国小学校、渋海小学校、下小国小学校を統合し、新たに校名を小国小学校とするものであり、統合の期日は、平成 29 年 4 月 1 日である。統合場所は、現在の渋海小学校とする。統合後の通学方法については、上小国小学校区と下小国小学校区はスクールバスを運行し、渋海小学校区は現行通り一部地域のみスクールバスを運行する。児童への配慮については、平成 28 年度に複式学級による履修漏れを解消する授業を行い、統合後の学習に支障が出ないように配慮する。

また、統合までの間、小国地域 3 小学校の交流をさらに増やして、児童が新しい環境に円滑に適應できるよう配慮する。施設整備については、学校駐車場の増設その他必要な施設整備を行う。統合後の空き校舎及び跡地利用については、地域住民と協議を行い、支所とも連携して利用方法の検討を行う。これらの対応については、7月29日に小国支所で地域住民と教育を考える懇談会を開催し、説明する予定である。次に、学校統合及び長岡市立学校設置条例の一部改正については、3小学校を統合するため、条例を一部改正するものである。改正内容については、別表第1に掲げてある上小国小学校、浜海小学校、下小国小学校を削除し、小国小学校に改めるもので、施行期日は平成29年4月1日である。なお、この条例改正については、9月市議会に提案する予定である。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) ないようなので、これより採決に移る。本件は、原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって、本件は原案のとおり決定した。

---

日程第3 議案第41号 平成28年度使用教科用図書の採択について

(大橋委員長) 日程第3 議題第41号 平成28年度使用教科用図書の採択について議題とする。この内容については公表前であるので、秘密会が適当ではないかと思うが、他の委員の方々はいかがか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) それでは、秘密会とする。

————— 会議規則第43条の規定により記録中止 —————

---

(大橋委員長) 以上で、本日の議案の審議を終了する。次に、協議報告事項に移る。

最初に、6月議会における教育委員会関係の質問事項について事務局の説明を求め

る。

(若月子育て支援部長) 6月議会における一般質問について説明する。まず、桑原望議員からは、放課後児童クラブの時間延長を求める声が多かったため、ご質問いただいたものである。これについては、一律には延長せず、希望する方の事情をよく聴き、本当に困っている方については、最長1時間程度の延長を検討したいと回答した。実際に黒糸児童クラブで任意に実施しているが、1回あたり2~3人の利用である。利用料については、地域の青少年健全育成活動として午後6時までは無料で実施しているが、6時以降の利用については個別対応ということもあり、有料化を検討したいと考えていると回答した。この延長のためには、児童厚生員の待遇についても考えていく必要がある。次に、高見美加議員からは、国が定めた「子ども貧困大綱」を勉強していく中で、貧困による教育格差や虐待があるのではないかとご質問いただいた。長岡市の認識について、市でも重要な課題として考えており、しっかり取り組んでいくと回答した。

(佐藤教育部長) 貧困の連鎖が生じないよう学力保障をしてほしいという質問に対しては、貧困家庭を特別扱いせず一律に学力保障に取り組んでいると回答した。

(若月子育て支援部長) 児童虐待防止の取組に対する質問について、児童相談所への電話番号が10桁から全国共通の3桁の189になった。これは児童相談所に直通でつながる番号で、6月下旬に学校へポスター等を配布し周知済みであると回答した。

(佐藤教育部長) 国の教育改革への対応について、「学校の適正規模をどのように考えているか。また、地域が子どもの学ぶ環境について考えることができるよう、学校の適正規模について情報提供すべきと思うがどうか。」という質問であった。長岡市の方針として、統廃合については、行政が一方向的に進めるのではなく保護者や地域の意見を尊重して進めるという従来からの方針がある。高見議員から、もう少し積極的に対応できないか、少なくとも情報提供して、醸成を図るべきではないかといった意見があった。これに対して、長岡市の現状を考慮すると、各学年1学級あり、かつ1学級25人程度いることが望ましい、と今回初めて長岡市の考える具体的な適正規模を回答した。また、学校をとおして保護者、地域に情報提供を行っているという回答した。土曜授業、コミュニティ・スクールに対する質問については、

土曜授業は行わないが、学校から実施申請があれば認める方針であること。また、コミュニティ・スクールは実施していないが、既存の制度である学校評議員制度、地域の協力体制、まちの先生等を有効活用し、学校運営に取り組んでいくと回答した。次に、中村耕一議員からの質問は、胃がんリスク検診について、ピロリ菌検査を中学生から実施してはどうかというものであった。長岡市では、成人については昨年度から実施している。若年期から行うことで、胃がんへの予防効果が高まることから、中学生から血液検査による検診実施の検討を進めたいと回答した。

(若月子育て支援部長) 次に、文教福祉委員会における質問について説明する。まず、五十嵐良一委員からは保育園の民営化についての質問であった。川崎、日越保育園の民営化後の検証の必要性について、しっかり検証していくと回答した。

(佐藤教育部長) 次に、丸山広司委員からは学校規模適正化についての質問で、先ほどの高見議員の質問とほとんど同じ内容であったので、同様の回答をした。次に、小熊正志委員からは食育基本条例制定から1年の成果についての質問であった。米飯給食については、出汁をしっかりときかせた給食を提供していると回答した。また今春行われた高等学校の新しい入学者選抜制度に対する質問については、2日目に行われた学校独自検査の実施状況について、長岡地区の公立高等学校12校のうち、11校で実施し、他については記載のとおり回答した。次に、諸橋虎雄委員からは、公立小中学校のつり天井落下防止対策及び耐震化についての質問であった。長岡でも未実施のところがあると新潟日報で報じられたことを受けての質問である。これに対して、つり天井対策、また学校の耐震化については、今年度中に全て完了予定であると回答した。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 質疑、意見なしと認める。次に、長岡ホノルル平和交流記念事業 青少年平和交流サミットについて事務局の説明を求める。

(山田学校教育課長補佐) 事業概要について、長岡市は、姉妹都市ホノルル市との平和交流記念事業を進めてきた。今年、戦後70年の節目にあたることから、未来志向をコンセプトに、両市の関係強化、平和と日米友好の発展に資するため、次の時代を担う青少年の交流を中心とした様々な取組を進めている。本事業では、青少

年の交流事業について「青少年平和交流サミット」として、両市の青少年が互いの歴史・文化を学びながら平和について話し合い、日米間のさらなる友好と世界平和に向けて平和の大切さを発信するサミット宣言を行う。長岡まつり期間中にホノルル青少年を招いて交流する「長岡プログラム」、長岡の中学生がホノルル市を訪問し交流する「ホノルルプログラム」の2つのプログラムにより平和交流を実施する。この交流全体を、青少年平和交流サミットと呼んでいる。期日について、長岡プログラムは7月30日夜に来日し、7月31日～8月3日に様々な活動を行う。ホノルルプログラムは8月13日～8月17日で3泊5日の日程である。詳しい日程については資料をご覧ください。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(青柳委員) 12学校33人からの選抜ということだが、応募者の中に男子は何人いたのか。

(山田学校教育課長補佐) 男子は5名、女子は28名であった。男子はその中の4名を選抜した。

(大橋委員長) 他に、質疑・意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 質疑、意見なしと認める。次に、平成27年度第1回熱中！感動！夢づくり教育推進会議報告について事務局の説明を求める。

(吉田学校教育課係長兼指導主事) 7月7日にさいわいプラザ6階大会議室において、第1回熱中！感動！夢づくり教育推進会議を開催した。会議内容の1つ目は、熱中！感動！夢づくり教育の新たな10年の展開についてである。「どの子にも分かる授業の実現」、「地域の力、市民の力を生かした教育の推進」、「熱中・感動体験の充実」を踏襲し、さらに、社会性の育成等の観点、ふるさと長岡に対する愛着や誇りをより強くするため補充、進化させた全体概要について説明した。2つ目は、平成27年度熱中！感動！夢づくり教育の事業概要についてである。主な意見・要望について、まず1つ目は、新規の夢づくりスポーツ推進事業についてである。これは、スポーツ協会に事業委託をして計28種目のスポーツに、長岡の子ども達がチャレンジする機会を与える取組で、大変良いと評価をいただいている。学校現場の教師と指導者であるスポーツ団体がタッグを組み、オール長岡で取り組む



ことが大切である。指導の質について、その目的を普及にするのか発展性を伸ばすものにするのか明確にしてもらいたいとご指摘いただいた。2つ目は、平和学習や長岡野菜、長岡の偉人や防災教育など、長岡ならではの事業が数多く用意されているので、市民にもっとアピールして、子どもたちが長岡に誇りを持てるようにして欲しいとご意見をいただいた。3つ目は、幼児期の発達に合った本物体験の機会を、より一層充実させ、幼保との連携を深めてもらいたいとご意見をいただいた。4つ目は、夏休み小学生農村体験事業だけが田舎や周辺地域に着目した事業で、市町村合併後の盲点になっているので、今後は農家や周辺地域という視点に立った事業を大切にしたいとご意見をいただいた。5つ目は、79 事業の中には知らない事業もあり、子どもたちや教員、市民にどう伝えていくかが課題だと複数ご意見をいただいた。各学校に熱中！感動！夢づくりコーナーを設け、子どもたちの目に触れ、実感できるようにするなど、広報・宣伝を含めて検討してほしいとご意見をいただいた。なお、当会議の前に、市内5中学校の生徒230名が市立劇場で、東京フィルハーモニー交響楽団による指導を受けるワークショップを見学いただいた。このような機会は非常に大事なので、今後も続けて欲しいと評価いただいた。また、会議後は次の日に実施される、小学校5年生を対象とした夢づくりコンサートのリハーサルを見学した。本物に触れることは大変良い、また小学5年生全員が聞けることは非常に良い、是非今後も続けて欲しいと評価いただいた。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(大橋委員長) 平成27年度の事業の中には、私が知らないものもある。会議に参加している校長や熱中！感動！夢づくり教育の事業に参加している学校はどのような事業があるか知っていると思うが、そうでない学校もあると思う。周知方法を検討していただきたい。次に、平成27年度の事業について質問がある。中央図書館の事業で、「子ども読書推進イベント」や「図書館を使った調べる学習コンクール」とあるが、これはどのようなものなのか。

(金垣中央図書館長) 「子ども読書推進イベント」について、元はブックトークという事業だったものの中身を検討し直し、としょリンピックという子どもに本を読んでもらうイベントとブックトークを1つの事業にまとめ「子ども読書推進イベント」と名前を変えたものである。「図書館を使った調べる学習コンクール」につい

て、これは昨年度から取り組んでいる事業で、文部科学省の後援をいただている読書協会が、子どもの発表作品を地域で表彰し、その中から良いものを全国で表彰するものである。調べる楽しさや感動体験させることをコンクールとして事業化し、熱中！感動！夢づくり教育に組み込んだものである。

(大橋委員長) 芸術文化振興財団のジュニア育成事業にも期待している。色々な形で周知してほしい。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

(加藤教育長) 79 事業の開催期日や場所等について、分からないものもあるとお話いただいたが、この後の催し物案内で夏季休業期間中における学校教育課が担当の事業が紹介されている。会場、日時等記載されているので、是非委員の皆さんには参観いただきたい。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 質疑、意見なしと認める。次に、平成 27 年度ポニー事業について、事務局の説明を求める。

(波多子ども家庭課長) 今年度も「熱中！感動！夢づくり教育」のひとつとして、実施するものである。まず、グラウンドポニースクールについてであるが、各学校に出向いて行うもので、これまでの実施状況等を踏まえ、14 校を選んだ。日程については、記載のとおりである。9 月 12 日は、さいわいプラザフェスティバルにポニー体験コーナーを設置する。支所地域巡回ポニーカーニバルは寺泊地域と栃尾地域で初めて開催する。ながおかポニーカーニバルは、今年度初めて市の中心部である市民防災公園で実施する。そして、ポニーとキャンプ in 蓼科については、7 月 28 日から 31 日まで 3 泊 4 日で実施する。小学 4 年生から中学 3 年生から抽選で選んだ 42 名が参加する。ポニーの管理、運營業務については、公益財団法人ハーモニセンターへ委託する。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(加藤教育長) 9 月 10 日のグラウンドポニースクールについて、表町小学校の参加予定児童数が、他に比べてとても少ないが選考基準はどうなっているのか。他に希望している学校の参加予定児童数が多いのであれば、そちらを優先すべきだと思

う。

(佐藤教育部長) 以前、表町小学校で開催したときは、近隣の保育園や幼稚園も参加していた。

(波多子ども家庭課長) 学校からの希望どおりにしかしていなかった。今後気をつける。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 質疑、意見なしと認める。次に、附属機関会議報告について、事務局の説明を求める。

(小熊科学博物館長) 平成 27 年度第 1 回長岡市水族博物館協議会について報告する。会議内容は、平成 27 年度事業実施計画・状況についてと水族博物館整備事業についてである。委員からの主な意見・質問について、さいわいプラザに設置した水槽が話題になった。手描きの PR ボードは季節感があって良いと評価いただいた。また、大改修を行っている寺泊水族館について、独自の個性で、手軽に行け、長岡市民の財産となる方向性を目指してほしいという温かいご意見をいただいた。

(大橋委員長) 以前、夏休みに色々な政策をうっていたが、今年は新しい企画等はないのか。

(小熊科学博物館長) 特に新しい企画は行っていない。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

(中村委員) 高い位置で見づらい水槽があるといった意見があるが、今はそれに対して踏み台を置くなど配慮しているのか。

(小熊科学博物館長) 導線上、危ない箇所には置けないので全部の水槽には対応できていない。古い設計なので、ガラスごと下げることはできない。

(佐藤教育部長) 現水族館では、水槽が高く、親が抱き上げないと子どもが見られないため、新水族館を整備する場合は、そこを考慮してほしいという主旨である。

(波多子ども家庭課長) 7 月 13 日に開催された平成 27 年度第 1 回長岡市子ども・子育て会議について報告する。会議の内容は、昨年度策定した長岡市子ども・子育て支援事業計画を基に今年度からスタートした新規の子育て支援関連事業について各課からの説明と、子ども・子育てワーキング部会を今年度も 3 つ立ち上げたの

でその報告をした。ワーキング部会の1つ目は、今後の児童クラブについて話し合う部会、2つ目は子育ての駅を含め、保育園に併設されている支援センターについて話し合う部会、3つ目は次代の親育成のためどういった事業を行うか話し合う部会である。次に、長岡市青少年健全育成総合対策実施計画を示し、承認いただいた。最後に、東京家政大学の平野教授からご意見をいただいた。委員からの主な意見として、今年度の新規事業について、ままのまカフェの拡充とままりラの開設が良かったと評価いただいた。ワーキング部会に関する意見として、児童クラブは利用者の視点、親・子ども・運営者それぞれの視点で総合的に考えていくべきだのご意見をいただいた。また、5年後10年後の子育てを見据えながら支援者同士のネットワークを作っていくことが大事なのではないかという意見の一方、支援センター・子育ての駅が充実し相談しやすいのだが、親自身が選択・決定するよう気づかせる支援が必要ではないかのご意見をいただいた。一つ一つの意見に事務局として回答はしなかったが、こういった意見を基に今後も事業を進めていきたいと考えている。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(加藤教育長) 親と子どもの意識のずれ違いを感じるとあるが、どういったことなのか。

(波多子ども家庭課長) 児童クラブについてのワーキング部会で出た意見である。

(若月子育て支援部長) 親は預けたいが、子どもは行きたくないといった意識の違いだと思われる。

(加藤教育長) ままのまカフェとままりラはどう違うのか。

(波多子ども家庭課長) ままのまカフェは、子育ての駅や地域のコミセンで母推さんが中心に行っているおしゃべり会で、ままりラは、マンションの一室で個別に母子相談に応じるものである。

(加藤教育長) 分かりにくいと思うがあえてそうしているのか。

(中村委員) ままのまカフェはだいぶ周知されてきていると思う。ままりラは、始めたばかりというものもあるが、あまり大々的に広報してはいけないものだと思う。問題の大きな人を選び、対応している面もあるので、場所もわかりにくくしてある。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 質疑、意見なしと認める。次に、催し案内に入る。事務局の説明を求める。

(吉田学校教育課係長兼指導主事) 夏季休業が始まるにあたり、学校教育課が行う6事業について説明する。まず1つ目は、「中学生イングリッシュアカデミー」である。7月27日から29日までの三日間、長岡市教育センターと長岡市消防庁舎において実施する。英検4級以上を条件とし2・3年生を中心に33名を選考した。「長岡と外国の町を比べてみよう」をテーマに、三日間英語漬けになって学ぶものである。フォートワースの高校生との交流活動を行い、最終日に成果を発表する。2つ目は、「子ども料理コンテスト」である。8月3日にさいわいプラザ2階の調理実習室にて行う。今年度は「白いごはんに合うおかず1品とお汁」をテーマにし、日頃のクラブ活動の成果を発揮しやすいものとした。3つ目は、「中学生数学アカデミー」である。8月5日から7日までアオーレ長岡で行い、東泉閣に一泊する。中学生19人が参加し、市内中学校の数学教師に加えて長岡高校の数学教師を指導者に迎え、難問に挑戦してもらおう。中には、東大入試問題もあるので、三日間しっかりと頑張ってもらおう。4つ目は、「夢づくり工房 in 長岡造形大学」である。8月6日7日の二日間、長岡造形大学で行う。長岡造形大学の教授等を講師に迎え、昨年度まで3コースだったものを1コース増やし、小学1年生から6年生まで一生懸命取り組める4コースを用意した。5つ目は、「ながおかハイスクールガイダンス」である。8月11日にアオーレ長岡で行う。今年度も県教育委員会が主催する、専門高校メッセと同時開催する。県内45校の高校生が集い、自ら高校の良さを中学生に話し、体験させアピールする。中学生と高校生がお互い学び合う場であり、大人が介入しない、子ども同士の学びの場を今年も設けたいと考えている。最後に「キッズイングリッシュアカデミー」については、8月17日から19日までアオーレ長岡で行う。最終日は交流ホールAで素晴らしい英語劇が発表されると思われるので、是非ご覧いただきたい。

(小熊科学博物館長) 2つの催しについて紹介する。まず1つ目は、特別展「北陸の土器と火炎土器」である。馬高縄文館を会場に、7月18日から9月6日まで展示会を行う。火炎土器の文化が1,000年前に長岡で成立するにあたって、その石川・富山の影響が非常に強く、長岡を含め新潟県方面に及んでいる。今回は石川・

富山の影響を受け、長岡で作られた土器や土偶を紹介する展示会を開催する。2つ目は、「第5回長岡藩主牧野家至宝展」である。7月25日から8月30日まで科学博物館企画展示室で開催する。今回は初代ほか7代から11代までの書画を展示し、それぞれの殿様の個性を紹介する。8月30日の最終日には、開館1周年記念として「長岡藩主牧野家の葬送文化」をテーマに講演会を開催する。東京三田の西海寺にあった殿様の墓の発掘調査を中心に講演会で紹介させていただく。

(大橋委員長) 他に報告事項はあるか。

(小熊科学博物館長) 「「もみじ公園巴ヶ丘山荘」が登録有形文化財に」について報告する。7月17日に、国の文化審議会の答申が行われ、新潟県内の別件と併せてもみじ園内にある建造物が、登録有形文化財に指定を受けた。明治29年頃に衆議院議員にも当選した高橋氏の別邸として建てられたものである。もみじ園自体が「地域の宝」に選定されている。今回の登録決定について、支所と連携し文化財PRを図りたいと考えている。

(大橋委員長) 他に報告事項はあるか。

(波多子ども家庭課長) お配りした、児童相談所全国共通ダイヤル「いちはやく(189)」とヤングテレホン&メール相談「ひとりで悩むのやめませんか。」のカードについて、これは青少年育成センターが夏休み前に小学生から高校生まで一人一人に配布したものである。また、お手伝い通信最新号を配布した。

(大橋委員長) 他に報告事項はあるか。

(山田学校教育課長補佐) 長岡フレンドリールームについて報告する。これまでは西千手2丁目の旧長生保育園舎を活用して開設していたが、三和保育園の耐震改修工事に伴い、仮園舎として旧長生保育園を利用するため、長岡フレンドリールームがさいわいプラザ内に移転した。21日から業務を開始している。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 質疑、意見なしと認める。これをもって協議報告事項を終了する。

---

(大橋委員長) これをもって本日の定例会を終了する。

---



会議の次第を記載し、その相違ないことを証するために署名する。

長岡市教育委員会委員長

長岡市教育委員会委員

長岡市教育委員会委員